

第71期 中間報告書

2018年4月1日から2018年9月30日まで

DENYO

デンヨー株式会社

【証券コード：6517】



病院に設置されている非常用発電機

目 次

ごあいさつ…………… ②

連結決算…………… ③～④

製品別の概況（連結）…………… ⑤～⑥

ニュース…………… ⑦～⑧

株式の概況…………… ⑨

会社の概況…………… ⑩

株主の皆様には、日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。
当社第71期の中間報告書をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、各地での記録的豪雨や大型台風、地震など災害による影響も見られました。一方、世界経済は、米国経済は緩やかな拡大基調が続き、アジア経済にも持ち直しの動きが見られましたが、米中の貿易摩擦による下振れリスクの増大等により、先行き不透明な状況となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては、首都圏の再開発工事や東京五輪関連工事など建設需要は引き続き堅調に推移し、海外においては、米国市場の需要が好調に推移しましたが、アジア市場の回復に若干遅れが見られました。

このような状況の中、当社グループといたしましては、新製品のPR活動や販売キャンペーンを実施し、拡販に努めるとともに、原価低減活動に注力してまいりました結果、売上高252億58百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益14億35百万円（同0.2%増）、経常利益16億57百万円（同8.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益11億7百万円（同17.0%増）となりました。

中間配当金につきましては、1株当たり普通配当金20円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、東京五輪関連工事やインフラ老朽化対策工事など国内建設需要は堅調に推移し、米国市場においても好景気を背景に、需要は堅調に推移するものと期待できる一方で、米中の貿易摩擦の動向など予断を許さない状況は続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、中期経営計画「Denyo2020」の各種施策を着実に実行してまいります。

株主の皆様には、今後とも旧に倍するご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2018年12月



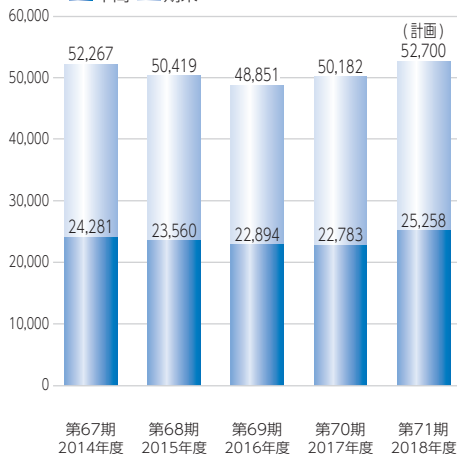
代表取締役社長

白鳥昌一

グラフで見る四半期連結業績の推移

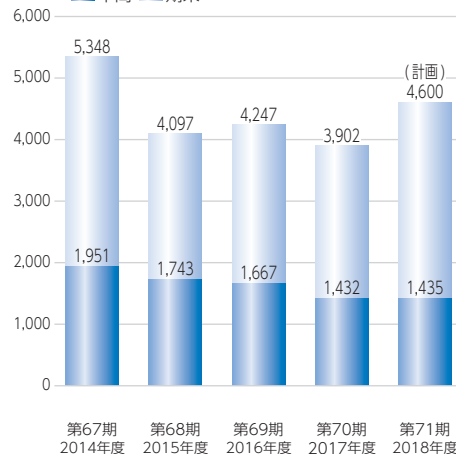
売上高

(百万円) ■ 中間 ■ 期末



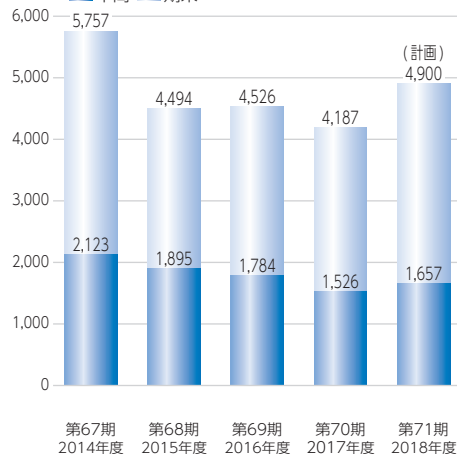
営業利益

(百万円) ■ 中間 ■ 期末



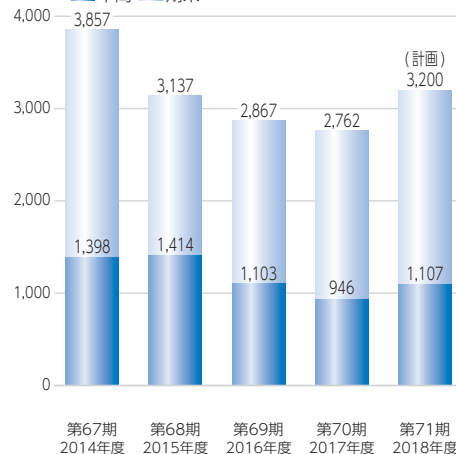
経常利益

(百万円) ■ 中間 ■ 期末

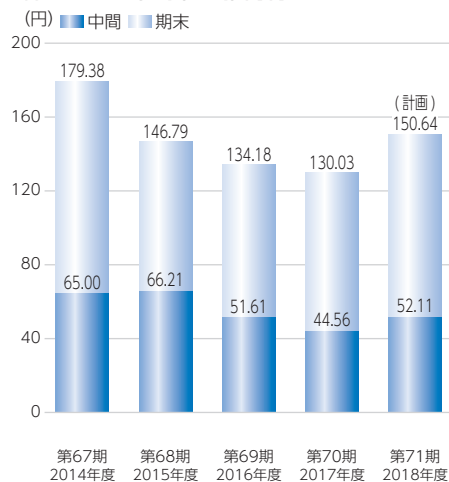


親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

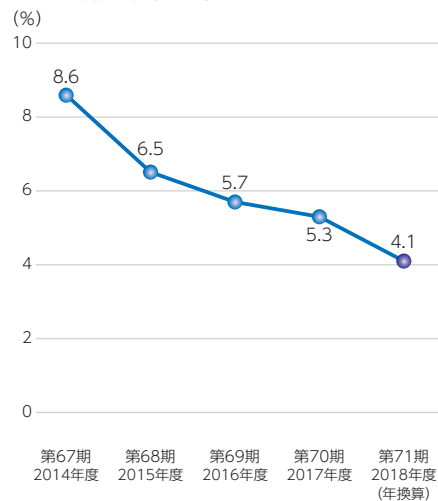
(百万円) ■ 中間 ■ 期末



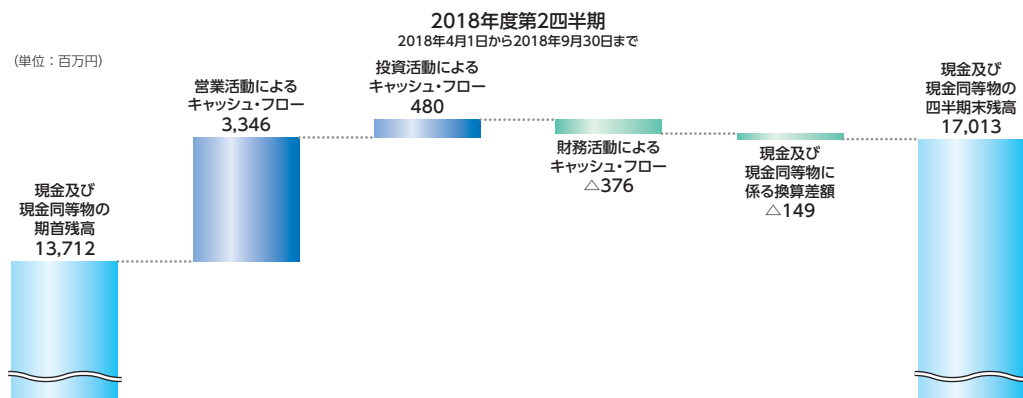
1 株当たり四半期(当期)純利益



自己資本利益率(ROE)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書



●発電機関連



（ディーゼルエンジン発電機 DCA-400LSIE）

発電機関連では、アジアおよび中近東向けに出荷が減少しましたが、米国向けが好景気を背景に好調に推移し、国内向けも、堅調な建設需要のもと、レンタル市場向けに可搬形発電機の出荷が増加したことから、売上高は196億61百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

●溶接機関連



（ガソリンエンジン溶接機 GAW-155ES）

溶接機関連では、米国および欧州向けの出荷が減少しましたが、国内向けが、小型溶接機を中心に堅調に推移したことから、売上高は24億17百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

●コンプレッサ関連



（エンジンコンプレッサ DIS-200VPS-D）

コンプレッサ関連では、国内、海外ともにエンジンコンプレッサの出荷が堅調に推移したことから、売上高は5億58百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

●その他



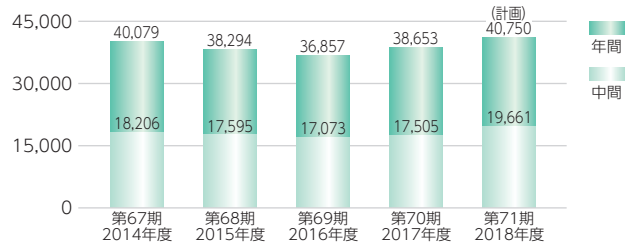
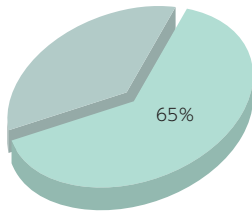
（自走式高所作業車 HW-600ZC）

その他では、高所作業車や製品に付随する部品などの出荷が増加したことから、売上高は26億20百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

■製品別売上高の推移 (単位: 百万円)

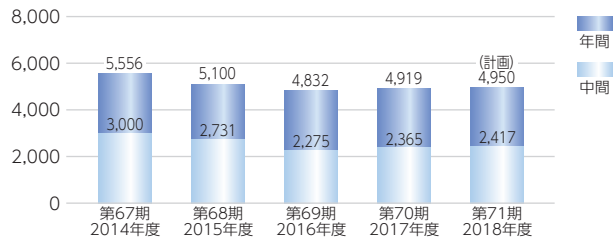
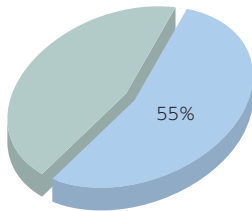
●発電機関連

国内市場占有率



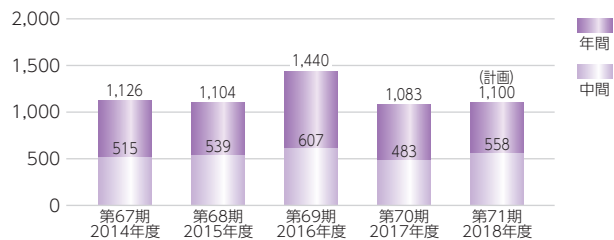
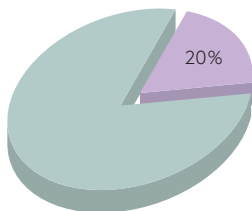
●溶接機関連

国内市場占有率

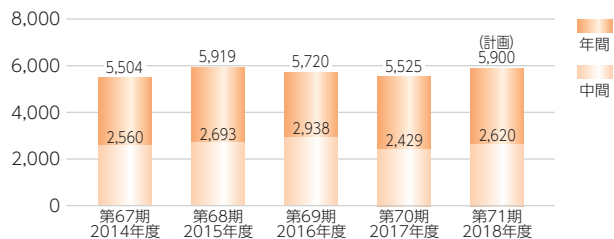


●コンプレッサ関連

国内市場占有率



●その他



(注) 国内市場占有率は当社調べによる。

■ 新型ガソリンエンジンTIG溶接機「GAT-155ES」のご紹介

デンヨーは、ガソリンエンジンTIG溶接機「GAT-155ES」を開発し、2018年7月より販売を開始いたしました。

「GAT-155ES」は、新型TIGユニット「RU3」を採用し、TIG溶接のモニターやスイッチ類をTIGユニットに集約いたしました。これにより、溶接機から離れた場所でも、TIG溶接電流の調整を手元で簡単に行えます。

溶接機の性能面では、最大溶接電流（TIG溶接/手溶接）を155Aにパワーアップすることで、従来機よりも出力に余裕を持たせました。また、手溶接作業時に作業内容に応じて「定電流特性」と「垂下特性」をワンタッチで切り替えることができ、さらに溶接中に交流電源と同時に使用することも可能となります。

発電性能としては、交流出力を3.0kVAにパワーアップし、インバータ制御により商用電源並みの安定した電源を供給いたします。

プラント工事やコンビナート工事はもちろん、鉄工業界でもTIG溶接のニーズが高まる中、手軽に出張工事へ持ち運びができる「GAT-155ES」を積極的に提案してまいります。



新型TIGユニットRU3



■ Denyo Manufacturing Corporation 組立ライン増築

米国ケンタッキー州の生産拠点である当社グループ会社Denyo Manufacturing Corporation (デンヨー マニュファクチュアリング コーポレーション:DMC) は、組立ラインを増築し、2018年6月より新ラインの稼働を開始いたしました。今回の増築により組立ラインが2ラインから3ラインとなり、生産能力は従来の約1.5倍となります。また、これに並行して、板金工場棟を新たに建設しております。完成後は最新鋭の板金設備を導入し、更なる生産能力の強化、効率化を図ることとなります。

米国では、好景気を背景に建設需要が好調に推移していることに加え、大型ハリケーンによる復旧・復興工事で発電機・コンプレッサの需要が増加しております。当社は、拡大する需要に対応するため、米国工場の生産体制の強化を図っております。

デンヨーは今後も、需要や市場動向に応じて必要な設備投資を積極的に行ってまいります。



増築した組立ライン



建設中の板金工場棟

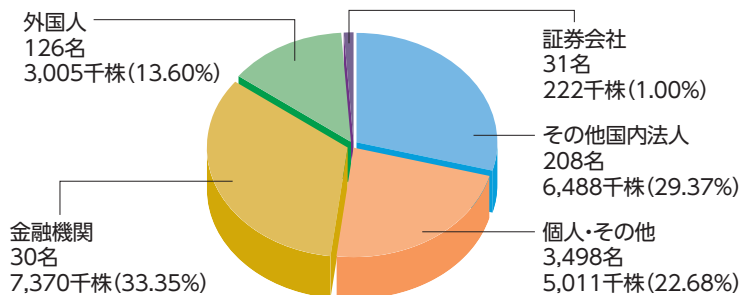
株式の概況 (2018年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 97,811,000株
- 発行済株式の総数 22,859,660株 (自己株式761,017株を含む)
- 株主数 3,894名
- 大株主

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
株 式 会 社 久 栄	1,600千株	7.24%
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,274	5.76
み ず ほ 信 託 銀 行 株 式 会 社	1,103	4.99
第 一 生 命 保 険 株 式 会 社	872	3.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	818	3.70
資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口)	797	3.60
デ ン ヨ ー 親 栄 会	604	2.73
株 式 会 社 鶴 見 製 作 所	543	2.45
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	540	2.44
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリフィデリティファンズ	522	2.36

- (注) 1. みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社の所有株式数1,103千株は、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の財産として拠出しており、その議決権行使の指図権は同行が留保しております。
2. 当社は従業員の福利厚生サービスとして自社の株式を給付する、「株式給付信託 (J-ESOP)」および当社取締役に対する株式報酬制度「取締役株式給付制度」として「株式給付信託 (BBT)」を導入しており、これらの信託の受託者であるみずほ信託銀行株式会社から再信託を受けた資産管理サービス信託銀行株式会社 (信託E口) が当社株式797千株を保有しております。
3. 当社は自己株式を761千株 (所有比率3.32%) 保有しておりますが、議決権がないため上記の大株主より除外しております。

○所有者別株式分布状況



会社の概況 (2018年9月30日現在)

商号	デンヨー株式会社
創立	1948年7月2日
本社	東京都中央区日本橋堀留町2丁目8番5号
事業所	全国21カ所
資本金	1,954百万円
従業員	584名 (連結子会社を含めた従業員1,309名)
営業種目	下記製品の製造ならびに販売 発電機：エンジン発電機、定置形発電機、交流発電機本体 溶接機：エンジン溶接機、溶接用発電機本体、特殊溶接装置、溶接用治具装置 コンプレッサ：エンジンコンプレッサ、モーターコンプレッサ その他：水関連機器、高所作業車、建設機械、部品および修理、その他

主要な連結子会社及び持分法適用関連会社の名称

○主要な連結子会社

デンヨー興産株式会社
西日本発電機株式会社
デンヨー アメリカ コーポレーション
デンヨー マニュファクチュアリング コーポレーション
デンヨー ユナイテッド マシナリー PTE.LTD.
デンヨー ヨーロッパ B.V.
デンヨー ベトナム CO.,LTD.
P.T.デイン プリマ ジェネレーター

○持分法適用関連会社

新日本建販株式会社

※西日本発電機株式会社は2018年10月1日付で商号をニシハツ株式会社に変更しております。

取締役および監査役

代表取締役社長	白鳥 昌一	取締役常務執行役員	水野 恭男	常勤監査役	増井 亨
代表取締役副社長執行役員	江藤 陽二	取締役上席執行役員	兎澤 俊哉	常勤監査役	杉山 勝
取締役相談役	久保山 英明	社外取締役	高田 晴仁	社外監査役	山田 昭
取締役常務執行役員	矢代 輝雄	社外取締役	朝比奈 礼子	社外監査役	武山 芳夫

執行役員

上席執行役員	加藤 智	執行役員	濱ノ園 健一	執行役員	廣井 亨
上席執行役員	山田 康弘	執行役員	森山 兼作	執行役員	吉永 隆法
上席執行役員	有満 文俊	執行役員	木村 千代樹	執行役員	布上 幸夫
上席執行役員	佐藤 三平	執行役員	野中 美智夫	執行役員	山田 正雄
上席執行役員	田辺 誠	執行役員	島津 利明		



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会の基準日	3月31日
期末配当の基準日	3月31日
中間配当の基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告方法	日本経済新聞に掲載する
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地
郵便物送付先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎ 0120-49-7009 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

当社ホームページ：<http://www.denyo.co.jp>

・住所変更・単元未満株の買取等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

・未支払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

・「配当金計算書」について

配当金を銀行等口座振込（株式数比例配分方式を除きます。）または配当金領収証にてお受取りの場合、お支払いの際ご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、株式数比例配分方式をご選択されている株主様におかれましては、お取引の証券会社等にご確認ください。